

柏原市立歴史資料館等運営協議会

資 料

日 時 令和元年 6 月 1 0 日 (月)

午後 2 時～ 4 時

場 所 柏原市立歴史資料館研修室

目 次

1	平成30年度事業報告	
(1)	歴史資料館関係	1
(2)	横穴管理運営関係	15
2	令和元年度（平成31年度）事業計画	
(1)	歴史資料館関係	16
(2)	横穴管理運営関係	20
3	講演会等の有料化について	21

資料

柏原市立歴史資料館等運営協議会委員名簿

事務局

教 育 長	新子 寿一
教 育 部 長	福島 潔
教育部次長	篠宮 裕之
文化財課長兼歴史資料館長	安村 俊史
文化財課参事	石田 成年
文化財課長補佐	植田 佳邦
文化財課主査	山根 航
文化財課係員（再任用）	桑野 一幸、田前 亮太
文化財課嘱託	青木 絹代
歴史資料館学芸員（嘱託）	高岡 萌

1 平成30年度事業報告

(1) 歴史資料館関係

(ア)【常設展示】

- a. 民具の展示コーナーを3回展示替え。
- b. ニュースのコーナーを世界かんがい施設遺産となった「大和川分水築留掛かり」に展示替え。
- c. 写真パネル展示コーナーを「田中幸太郎の写した柏原」大和川編からぶどう編に展示替え。
- d. そのほか、企画展、資料貸し出し等に伴って展示資料を入れ替え。

(イ)【企画展】

- a. 「今町一三田家・寺田家からみた柏原一」(平成29年度事業)
平成30年3月31日～6月10日
観覧者数2,280名(個人1,642名、団体638名)
- b. 「鍛冶の郷」
平成30年7月1日～8月26日
観覧者数1,542名(個人1,531名、団体11名)
- c. 「わずか8か月の大工事―大和川のつけかえ―」
平成30年9月11日～12月9日
観覧者数12,634名(個人2,320名、団体10,314名)
見学小学校124校、9,926名(29年度112校、9,039名)
- d. 「ちょっと昔の道具たち―伝える―」
平成31年1月5日～3月10日
観覧者数2,151名(個人1,455名、団体696名)
見学小学校11校、493名(29年度9校、648名)
- e. 「安宿郡の古墳と寺院」
平成31年3月30日～6月16日

(ウ)【特集展示】

- a. 「水野家文書―三田家のはじまり―」
平成30年3月27日～6月10日
- b. 明治150年記念「柏原と明治維新」
平成30年6月12日～9月29日
- c. 「愛宕塚古墳」
平成30年10月2日～平成31年3月17日

d. 「高井田横穴群」

平成 31 年 3 月 19 日～令和元年 6 月 9 日

(エ) 【スポット展示】

「こんなモノをいただきました」をテーマに 2 ヶ月ごとに展示替え。9～10 月の展示は博物館実習生による展示。11～12 月の展示は職業体験の中学生による展示。

a. 御殿雛、雛道具（寄贈 1993-3）

平成 30 年 3 月～4 月

b. 船橋遺跡採集土器・瓦（寄贈 2011-4）

平成 30 年 5 月～6 月

c. 智識寺模型塔・金堂（寄贈 2011-6）

平成 30 年 7 月～8 月

d. 行灯、ランプ（寄贈 2011-10）

平成 30 年 9 月～10 月

e. 練成経典（寄贈 2011-5）、軍用手帳（寄贈 2011-7）、異国人図屏風（寄贈 2011-10）

平成 30 年 11 月～12 月

f. 割竹形石棺蓋拓本、銅鐸拓本（寄贈 2011-8）

平成 31 年 1 月～2 月

g. 御殿雛、雛道具（寄贈 1994-3）

平成 31 年 3 月～4 月

(オ) 【出張展示】

- a. 平成 30 年 9 月 19 日から 10 月 10 日まで、柏原市市民歴史クラブ、大阪府立中央図書館との共催事業として、府立中央図書館にて出張展示「大和川洪水との戦い」を開催。中央図書館 1 階展示コーナーにて、国分地区のジオラマ、田輪樋模型、菱牛模型とパネルによる展示。講演会「大和川、洪水との戦い」を開催。

(カ) 【文化財講演会】 定員 70 名

a. 平成 30 年 7 月 28 日（土）

「大県遺跡とその周辺」

講師 山田隆一氏（大阪府教育庁）

「もうひとつの鍛冶の郷ー交野市森遺跡の初期官営工房ー」

講師 吉田知史氏（交野市教育委員会）

聴講者数 70 名

b. 平成 30 年 8 月 25 日 (土)

「奈良県の遺跡からみた鉄器生産について」

講師 坂 靖氏 (奈良県教育委員会)

「柏原鍛冶集落の変遷」

講師 北野 重氏 (鍛冶研究会会長)

聴講者数 87 名

c. 平成 31 年 2 月 9 日 (土)

「河内における横穴式石室の変遷」

講師 安村俊史 (当館館長)

「八尾市東部山麓の古墳群と愛宕塚古墳―その歴史と活用―」

講師 樋口めぐみ (八尾市立歴史民俗資料館学芸員)

聴講者数 58 名

(キ)【市民歴史大学】 定員 100 名

年間テーマ「柏原と鍛冶」(文化財講座例会と兼ねる。)

a. 平成 30 年 7 月 14 日 (土)

「弥生時代の鉄器生産」

講師 野島 永氏 (広島大学教授)

聴講者数 90 名

b. 平成 30 年 8 月 5 日 (日)

「古代国家成立前夜の鉄器生産」

講師 村上恭通氏 (愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センターセンター長)

聴講者数 93 名

c. 平成 31 年 1 月 12 日 (土)

「古墳時代後期の鉄・鉄器生産について」

―大阪府柏原市大県・田辺遺跡、交野市森遺跡を中心に―

講師 真鍋成史氏 (交野市教育委員会)

聴講者数 54 名

d. 平成 31 年 2 月 23 日 (土)

「分析からみた古代の鍛冶技術」

講師 鈴木瑞穂氏 (日鉄住金テクノロジー株式会社)

聴講者数 64 名

(ク)【体験教室】

- a. 平成 30 年 12 月 2 日 (日) 定員 20 名
「しめなわを作ろう」 講師 横尾卓治氏 (市内雁多尾畑在住)
参加者数 17 名
- b. 平成 31 年 2 月 3 日 (日) 定員 15 名
「わらぞうりを作ろう」 講師 横尾卓治氏
参加者数 18 名

(ケ)【文化財講座】 年間 11 回 受講者数 54 名 (定員 60 名) 担当・山根
年間テーマ「柏原と鍛冶」 受講料 年間 2,000 円

- a. 平成 30 年 5 月 12 日 「古代の鍛冶」(講義・山根)
- b. 平成 30 年 6 月 9 日 「集落の変遷からみた柏原の鍛冶」(講義・安村)
- c. 平成 30 年 7 月 14 日 市民歴史大学 a の聴講
- d. 平成 30 年 8 月 5 日 市民歴史大学 b の聴講
- e. 平成 30 年 9 月 8 日 「鍛冶の郷—展示を振り返って—」(講義・山根)
- f. 平成 30 年 10 月 13 日 見学会 1・大阪二大鍛冶遺跡を巡る
- g. 平成 30 年 11 月 10 日 見学会 2・北河内の鍛冶遺跡を巡る
- h. 平成 30 年 12 月 8 日 見学会 3・葛城の鍛冶遺跡、古墳を巡る
- i. 平成 31 年 1 月 12 日 市民歴史大学 c の聴講
- j. 平成 31 年 2 月 23 日 市民歴史大学 d の聴講
- k. 平成 31 年 3 月 9 日 「柏原と鍛冶—まとめ—」(講義・山根)

(コ)【古文書講座】

- a. 初級編 年間 10 回 受講者数 23 名 (定員 25 名)
『河内鑑名所記』を読む。
- b. 中級編 年間 10 回 受講者数 21 名 (定員 25 名)
樋関連文書、末吉家文書を読む。
担当・高岡 受講料 年間 1,000 円
平成 30 年 6 月から平成 31 年 3 月まで 10 回開催。

(サ)【館長と学ぶ大和川講座】 定員 70 名

- a. 平成 30 年 4 月 28 日 「柏原村と大和川」 聴講者数 78 名
- b. 平成 30 年 5 月 26 日 「付け替え反対派の動き」 聴講者数 79 名
- c. 平成 30 年 6 月 23 日 「大和川の付け替え工事—測量編—」 聴講者数 73 名
- d. 平成 30 年 9 月 29 日 「大和川の付け替え工事—設計編—」 聴講者数 73 名
- d. 平成 30 年 10 月 27 日 「わずか 8 か月の大工事」 聴講者数 70 名

- e. 平成 30 年 11 月 24 日 「発掘成果からみた付け替え工事」 聴講者数 61 名
- f. 平成 30 年 12 月 22 日 「なぜ大和川は付け替えられたのか」 聴講者数 72 名
- g. 平成 31 年 3 月 23 日 「新川筋村々の苦悩」 聴講者数 62 名

(シ) 【博物館実習】

- a. 平成 30 年 8 月 21 日～26 日 6 日間
大阪教育大学 1 名、近畿大学 2 名、計 3 名
内容 館内施設の説明と見学、考古資料の扱い、民俗資料の整理、文書史料の整理、
写真の撮影、スポット展示の実施

(ス) 【職業体験】

- a. 平成 30 年 11 月 1 日・2 日 2 日間
柏原市立玉手中学校 2 年生 3 名
- b. 平成 30 年 11 月 8 日・9 日 2 日間
柏原市立国分中学校 2 年生 2 名
内容 資料の整理、スポット展示の実施など

(セ) 【大学との連携】

- a. 平成 30 年 5 月 19 日
関西福祉科学大学 54 名。総合教養 I 「河内学」の学外体験授業。
「柏原の古墳文化」を山根が講義、その後 3 班に分かれて資料館・横穴公園案内。
- b. 平成 30 年 5 月 23 日
大阪教育大学 6 名。大学院考古学授業の受け入れ。
柏原市の考古学概説講義、館案内。
- c. 平成 30 年 10 月 12 日
大阪教育大学 教員養成課程日本史ゼミ生 7 名。大和川学習見学のため来館。
企画展・小学生へのガイダンス見学後、質疑応答。
- d. 平成 30 年 10 月 22 日～26 日
大阪教育大学 4 名。教育コラボレーション演習で大和川付け替え学習へ対応。
22 日に研修。23～26 日に見学小学生への解説や引率。付け替え学習提案を課題。

(ソ) 【資料調査・整理】

- a. 国分本町・西尾寛一家（南西尾家）文書の整理終了。『南西尾家文書目録』Ⅳの刊行。
- b. 今町・三田家文書の整理。寄託史料仮目録作成、返却。新たな史料を受け入れ、整理を継続。

- c. 大阪市平野区・末吉家文書の調査。史料の寄託を受け、大阪市史編纂所の協力を得て調査・整理中。
- d. 玉手・安福寺文書の整理。史料の寄託を受け、順次整理を進める。
- e. マイクロフィルム撮影事業。平成 19 年度から実施し、30 年度も 2,000 カットの撮影。柏原市古文書調査報告 5 『柏元家文書目録Ⅲ』を実施。

(タ) 【所蔵・保管資料の貸し出し】

計 11 件

a. 大阪府立近つ飛鳥博物館

常設展示。

平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

大県遺跡：鉄滓 6 点・韃羽口 7 点・砥石 2 点

計 15 点

b. 大阪府立近つ飛鳥博物館

春季企画展「渡来人と群集墳」に展示。

平成 30 年 4 月 21 日～6 月 17 日

平尾山古墳群平野・大県 20-3 号墳：須恵器 13 点・ミニチュア竈 1 点・環頭柄頭 1 点・轡 1 点・兵庫鎖 1 点・方形飾金具 1 点

計 18 点

c. 国立歴史民俗博物館

常設展示。

平成 30 年 8 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

大県遺跡：韃羽口 2 点・鉄滓 2 点・砥石 2 点

計 6 点

d. 大阪府立弥生文化博物館

夏季特別展「弥生のマツリを探るー祈りのイメージと祭場ー」に展示。

平成 30 年 6 月 25 日～9 月 28 日

平野遺跡：絵画土器、本郷遺跡：小銅鐸

計 2 点

e. 柏原市人権推進課

柏原市平和展に展示。

平成 30 年 8 月 1 日～8 日

軍用スコップ、水筒、兵隊用の靴、軍隊手帳、鉄かぶと、兵帽、銃剣、ヤカン、水さし、ゲートル、たすき、軍事絵葉書、フライパン、防毒用マスク、消化弾、国民服儀礼章、腰バッグ、皮手袋、弁当箱、展示パネル 2 点

計 21 点

f. 高松市歴史資料館

企画展「Mt.IWASEOー積石塚からみた地域の実像ー」に展示。

平成 30 年 9 月 3 日～11 月 16 日

松岳山古墳：土師器（市指定有形文化財）2 点・埴輪 4 点、茶臼塚古墳：石材 4 点

計 10 点

- g. 尼崎市立田能資料館
特別展「腕輪モノがたり」に展示。
平成 30 年 10 月 1 日～12 月 26 日
茶臼塚古墳：鋏形石 4 点・車輪石 10 点・石釧 25 点（市指定有形文化財） 計 39 点
- h. 大阪府立弥生文化博物館
企画展「弥生時代の高地性集落とは－大阪における特質と性質－」に展示。
平成 30 年 12 月 18 日～平成 31 年 4 月 12 日
高尾山山頂遺跡：土器 5 点・石器 5 点 計 10 点
- i. 羽曳野市世界文化遺産推進室
ギャラリー展示「古市古墳群を歩く前に」に展示。
平成 31 年 1 月 16 日～3 月 27 日
平尾山古墳群 太平寺 5-1 号墳：馬形埴輪 1 点
- j. 柏原市立玉手小学校
1 年生の国語科教材として利用。
平成 30 年 1 月 23 日～3 月 26 日
糸車 1 点
- k. 個人
古代服のファッションショー実演。
平成 31 年 2 月 22 日～25 日
古代服レプリカ 2 点

(チ) 【所蔵・保管資料の撮影・写真貸出等】 計 23 件

- a. 大阪府立近つ飛鳥博物館
春季企画展「渡来人と群集墳」の図録・パネル・ポスター・チラシ等に掲載。
写真提供：平尾山古墳群平野・大県 20-3 号墳横穴式石室出土単龍環頭大刀柄頭・ミニチュア竈 計 3 点
- b. 学校法人河合塾
2018 年度夏季講習「関関同立大日本史」に掲載。
写真転載：茶臼塚古墳出土土円筒埴輪 1 点
- c. 個人
NHK文化センター京都教室における研究講座「京都鉄道ガイド」の配布資料に掲載。
写真提供：図録『亀の瀬の歴史』掲載の絵はがき 7 点
- d. 大阪府立弥生文化博物館
夏季特別展「弥生のマツリを探る－祈りのイメージと祭場－」の図録・リーフレット・ポスター・チラシ・招待券・解説パネル・ホームページ・報道提供等広報資料

に掲載。

写真提供：平野遺跡出土絵画土器 1 点、本郷遺跡出土小銅鐸 3 点 計 4 点

e. (公財) 古都飛鳥保存財団高松塚壁画館

秋季企画展「古代寺院出土の壁画」にてパネル展示。

写真掲載：田辺廃寺出土壁画片 5 点

f. 大阪府立近つ飛鳥博物館

秋季特別展「4 世紀のヤマト王権と対外交渉」の展示パネル・図録・ポスター・チラシ・ホームページ等広報資料に掲載。

写真提供：松岳山古墳全景・石棺と立石・土師器壺 2 点 計 4 点

写真掲載：松岳山古墳出土埴輪 1 点

g. 大阪府教育委員会

大阪府公立高等学校入学者選抜学力検査問題（英語）に使用。

画像転載：当館ホームページ「大和川のおいたち」に掲載の大阪平野の図 1 点

h. 韓国漢城百済博物館

特別展「韓中交流の関門、山東ー東アジアのシルクロード物語ー」の展示図録・パネルに掲載。

写真提供：高井田山古墳出土熨斗・玉類 計 2 点

i. 株式会社日本入試センター

進学教室サピックス塾内テスト「社会 6 年第 2 回合格力判定 SO」に掲載。

写真転載：向井山茶臼塚古墳出土三角縁神獣鏡 1 点

j. 神戸市教育委員会

神戸市埋蔵文化財センター秋季企画展「神戸はかつて焼き物の里だった〜トウバンケイスエキの世界〜」で使用

写真提供：大県遺跡出土甗 1 点

k. 青葉図書株式会社

『大阪府の白地図 4 年』に掲載。

写真提供：中甚兵衛の銅像写真 1 点

l. 高松市歴史資料館

企画展「Mt.IWASEOー積石塚からみた地域の実像ー」の印刷物等に掲載。

写真提供：松岳山古墳墳丘 8 点・石棺 1 点、茶臼塚古墳墳丘 1 点 計 10 点

m. 尼崎市立田能資料館

特別展「腕輪モノがたり」のポスター・チラシ・パンフレット・ホームページ等に掲載。

写真提供：茶臼塚古墳副葬品出土状況 計 3 点

n. 尼崎市立田能資料館

特別展「腕輪モノがたり」のポスター・チラシ・パンフレット・ホームページ等に掲

載。

写真掲載許可：茶臼塚古墳出土腕飾類一括写真（大阪府立近つ飛鳥博物館所蔵）

1 点

o. 個人

論文に掲載。

写真掲載：茶臼塚古墳出土腕輪形石製品写真 15 点・計測画像 47 点 計 62 点

p. 刈谷市歴史博物館

企画展「水野勝成展～『鬼日向』のいくさとまちづくり」の図録・ポスターなどへ掲載。

写真提供：玉手山 3 号墳出土鉄砲玉（大阪市立大学所蔵）、先考銘鑑（国分・安田家文書） 計 2 点

q 和歌山県立紀伊風土記の丘

企画展「岩橋型横穴式石室のはじまり」の展示・関連展示講座資料への掲載。

写真転載：高井田山古墳横穴式石室・石室床面検出後・実測図 計 3 点

r 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所

朝日新聞土曜版 Be「木簡の古都学」に掲載。

写真掲載：安堂遺跡出土若狭国荷札木簡 1 点

s 学校法人河合塾

2019 年度前期「日本史写真資料集」に掲載。

写真転載：茶臼塚古墳出土円筒埴輪 1 点

t. カタシモワインフード株式会社

ワインラベル、ワイン及びワイナリー PR のため。

拓本コピー提供：智識寺跡出土複弁蓮華文軒丸瓦 1 点

u. 個人

『海のむこうからみた倭国』（jin-in-jin 出版社）に掲載。

写真提供：高井田山古墳横穴式石室全景 1 点

v. 八尾市立図書館

今東光資料館平成 31 年度春季企画展に展示。

写真掲載：大和川での水泳風景写真 3 点

w. 長瀬川水辺環境づくり推進協議会

世界かんがい施設遺産 大和川分水築留掛かり 概要パンフレットに掲載。

写真転載：「築留樋前堀関仕方絵図」（柏元家文書） 1 点

(ツ) 【所蔵・保管資料の調査・見学等】

計 22 件

a. 大阪府立弥生文化博物館学芸員

平野遺跡出土絵画土器、本郷遺跡出土小銅鐸

- b. 大学院生（早稲田大学）
茶臼塚古墳出土腕輪形石製品
- c. 奈良県立橿原考古学研究所 2 名
茶臼塚古墳出土銅鏡 2 面・埴輪 3 点、高井田山古墳出土銅鏡 1 面
- d. 高松塚壁画館学芸員
田辺廃寺出土壁土
- e. 個人
大県遺跡出土鍛冶関連遺物
- f. 学生（京都大学）
茶臼塚古墳出土腕輪形石製品
- g. 尼崎市立田能資料館学芸員 2 名
茶臼塚古墳出土腕輪形石製品
- h. 高松市文化財課
松岳山古墳出土土師器・埴輪
- i. 大阪市史編纂所 2 名
末吉康三郎家文書
- j. 小学校教員
中家文書
- k. 大阪府立弥生文化博物館学芸員
高尾山山頂遺跡出土品
- l. 大学院生（奈良教育大学）
堅山家文書
- m. 個人
平尾山古墳群雁多尾畑第 49 支群 1・4・10 号墳出土資料
- n. 学生（京都府立大学）
平尾山古墳群太平寺支群出土一字一石経
- o. 個人
平尾山古墳群雁多尾畑第 49 支群出土耳環
- p. 個人
大県遺跡・田辺遺跡出土羽口・鉄滓
- q. 大阪府立近つ飛鳥博物館学芸員
安福寺横穴群南群 1 号横穴出土陶棺、南群 17・18 号横穴出土土師器・須恵器、玉手
山東横穴出土陶棺・土師器・須恵器
- r. 個人
玉手山 1・3・7・9 号墳出土埴輪、松岳山古墳出土埴輪

- s. 個人（韓国）
鳥坂寺跡出土鴟尾
- t. 個人 2 名
智識寺跡出土複弁蓮華文軒丸瓦
- u. 学生（立命館大学）
大県遺跡 83-5 次調査出土石器
- v. 研究生（山口大学）
高井田山古墳出土刀・剣・槍・矛・石突

(テ) 【寄贈資料】	計 12 件
a. 寛永通宝 175 点、太平通宝 1 点、文久永宝 5 点、一銭 16 点、五銭 1 点、不明銭 7 点、 十銭紙幣 3 点	計 208 点
b. はさみ	2 点
c. 肖像写真、勲章 2 点、履歴書、西尾家系図、吉村家法名控	計 6 点
d. 8 ミリカメラ、8 ミリ映写機、顕微鏡	計 3 点
e. 山高帽、手提金庫、雛道具	計 3 点
f. 草取機、木製たらい	計 2 点
g. 奉公袋、支那事変従軍記章、勲章 2 点、帝国在郷軍人会員徽章、写真 35 点	計 40 点
h. 看板「平野電話所」「平野郵便電信局」、鬼瓦	計 3 点
i. 瓦（鳳凰文塼）	1 点
j. 「大嶽和久作品展」CD その 6、「同」その 10	計 2 点
k. 杵、石臼、石臼蓋、石臼台、火鉢、真空管ラジオ、『写真で見る日本』 20 点	計 26 点
l. 大阪府文化財分布図（昭和 52 年、大阪文化財センター発行）、大阪府文化財地名表 （同上）	計 2 点

(ト) 【寄託資料】	計 7 件
a. 古文書	72 点
b. 古文書	約 350 点
c. 銅製容器（身 1 点、蓋 1 点）	計 2 点
d. 安田家文書写真資料	2 点
e. 古文書	77 点
f. 安福寺所蔵夾紵棺（柏原市指定有形文化財）	1 点
g. 古文書	3 点

(ナ) 【刊行物等】

- a. 『鍛冶の郷』 夏季企画展に伴う展示図録
カラー26 ページ、平成 30 年 7 月発行、300 円
- b. 『柏原市立歴史資料館館報』 第 30 号・2017 年度
68 ページ、平成 30 年 9 月発行、400 円
- c. 『安宿郡の古墳と寺院』
36 ページ、平成 31 年 3 月発行、400 円
- d. 柏原市古文書調査報告書第 13 集『南西尾家文書目録』Ⅳ
64 ページ、図版 4 ページ、平成 31 年 3 月発行、600 円
- e. 『ゴンドラ』 第 15 号
4 ページ、平成 30 年 9 月発行、無料
- f. スケッチブック
平成 31 年 3 月発売、200 円

(ニ) 【市民歴史クラブ】

資料館を拠点にクラブとして自主的に活動。平成 30 年度は、春季企画展「今町」に伴い、今町の町並み模型（ジオラマ）を作製し、展示した。

9～10 月には、大阪府立中央図書館で、歴史資料館・府立中央図書館と共催の模型を中心とした「大和川・洪水との戦い」の展示を行った。平成 30 年度春季企画展「安宿郡の古墳と寺院」開催に伴い、安宿郡のジオラマ、片山廃寺の五重塔復元模型などを作製して展示に参加。

これ以外にも、冬季企画展に伴うなわなひの準備・体験の補助、横穴公開の解説等にもボランティアとして協力。

(ヌ) 利用状況

平成 30 年度歴史資料館利用状況（入館者数）

月	入館者数	開館日数	1 日平均入館者数	土日祝日平均入館者数
4	799	26	30.7	52.2
5	1,147	27	42.5	53.1
6	888	26	34.2	45.6
7	701	27	26.0	38.4
8	998	27	37.0	48.5
9	2,973	26	114.3	39.0
10	5,209	27	192.9	54.2
11	4,009	26	154.2	46.6
12	1,008	26	38.8	38.1
1	910	25	36.4	33.6
2	1,039	25	41.6	44.1
3	721	27	26.7	30.3
合 計	20,402	315	64.8	43.4

平成 26～30 年度・利用状況の変化

年度	入館者数	開館日数	1 日平均入館者数	土日祝日平均入館者数
26	18,135	315	57.6	35.4
27	19,241	315	61.1	44.1
28	17,906	312	57.4	40.7
29	18,331	312	58.8	41.9
30	20,402	315	64.8	43.4

企画展別入館者数

「今町」 2,280 名（個人 1,642 名、12 団体 638 名）

「鍛冶の郷」 1,542 名（個人 1,531 名、1 団体 11 名）

「わずか 8 か月の大工事」 12,634 名（個人 2,320 名、136 団体 10,314 名）

「ちょっと昔の道具たち」 2,151 名（個人 1,455 名、11 団体 696 名）

(ネ) 高井田文化教室「柏陽庵」利用状況

5人以上の一般の貸室と定期的なクラブ等の団体への貸室とに区別して有料で開放。茶道・華道・箏曲・俳句・川柳・短歌・詩吟・和裁・押し花・ビーズ工芸・将棋・学生のクラブなどの文化活動の場として利用を呼び掛け。

柏陽庵利用状況

平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月

月別	クラブ利用者	一般利用者	合計	月別	クラブ利用者	一般利用者	合計
4 月	84	180	264	10 月	89	160	249
5 月	71	10	81	11 月	81	0	181
6 月	89	0	89	12 月	78	150	228
7 月	71	140	211	1 月	69	150	219
8 月	80	20	100	2 月	77	10	87
9 月	71	150	221	3 月	89	20	109
				総計	949	990	1,939

(2) 横穴管理運営関係

(ア) 【史跡高井田横穴特別公開】

- a 春季 5月19日(土) 午前10時～午後3時 123名
- b 秋季 10月20日(土) 午前10時～午後3時 69名
- ・前年度に続いて、市制60周年記念として船に乗る人物の線刻壁画のある第3支群5号横穴を公開。
- ・市民歴史クラブが参加・協力。
- ・春季については関西福祉科学大学の「総合教養Ⅰ－河内学－」の学外体験講義として位置付けられ、学生54人が歴史資料館で講義を受講後、横穴を見学した。

(イ) 【横穴公園等案内】

団体の横穴見学希望者には、可能な限り職員が鍵を開けて数基の横穴を案内。

(ウ) 【維持管理】

- a 保存工事を実施した第3支群5号横穴の経過観察を定期的に実施(毎月)。
目視、写真撮影、記録作成、他
- b 横穴公園内景観の維持管理。
枯木等の伐採、他
- c 9月の台風21号による倒木等多数発生。現在も一部で公開中止の箇所がある。

2 令和元年度（平成31年度）事業計画

（1）歴史資料館関係

（ア）【常設展示】

資料貸し出し等に伴い、少しずつ展示資料を入れ替え。

近世・民具の展示コーナーは、季節感等も考慮して資料を入れ替えながら展示。

（イ）【企画展示】

a. 「歴史舞台・玉手山古墳群」

令和元年7月6日（土）～8月25日（日）

b. 「大和川つけかえと中甚兵衛」

令和元年9月10日（火）～12月8日（日）

c. 「ちょっと昔の道具たち」

令和2年1月4日（土）～3月8日（日）

d. 「龍田古道」

令和2年3月28日（土）～6月14日（日）

（ウ）【特集展示】

a. 「高井田横穴群」 令和元年3月～6月

b. 「歴史舞台 玉手山―古代編―」 令和元年6月～9月

c. 「中甚兵衛」 令和元年9月～12月

d. 「未定」 平成31年1月～3月

（エ）【スポット展示】

「こんなモノをいただきました」

最近の寄贈資料を2か月ごとに展示替え。

博物館実習生、職業体験生徒による展示を予定。

（オ）【出張展示】

a. 大阪府立近つ飛鳥博物館等における市民歴史クラブの展示「河内国柏原村と柏原船」を支援。講演会を開催。平成31年4月7日～4月28日

b. 市民歴史クラブ・大阪府立中央図書館と共催で、府立中央図書館にて「安宿郡の古墳と寺院―7・8世紀の近つ飛鳥―」の出張展示。地形模型・塔模型を中心に、パネル等を展示。講演会も開催。令和元年9月18日～10月14日

(カ)【文化財講演会】

a. 令和元年 7 月 27 日 (土)

講師 今尾文昭氏 (関西大学非常勤講師)「オオヤマト古墳群について」

講師 天野末喜氏 (元藤井寺市教育委員会)「古市古墳群の成立」

b. 令和元年 8 月 24 日 (土)

講師 広瀬 覚氏 (奈良文化財研究所)「前期古墳の埴輪について」

講師 梅本康広氏 (向日市埋蔵文化財センター)「向日丘陵の前期古墳」

(キ)【市民歴史大学】

「歴史舞台・玉手山」をテーマに 4 回の講演会を開催 (文化財講座例会を兼ねる)。

a. 令和元年 7 月 15 日 (月)

講師 青木 敬氏 (国学院大学准教授)「前期古墳の墳丘」

b. 令和元年 8 月 12 日 (月)

講師 岸本直文氏 (大阪市立大学教授)「玉手山古墳群」

c. 令和 2 年 1 月 11 日 (土)

講師 未定

d. 令和 2 年 2 月 8 日 (土)

講師 未定

(ク)【体験教室】

a. 「しめなわを作ろう」定員 20 名

令和元年 12 月 1 日 (日)

b. 「わらざうりを作ろう」定員 15 名

令和 2 年 2 月 2 日 (日)

(ケ)【文化財講座】

テーマ「歴史舞台・玉手山」

定員 60 名 受講者数 55 名

日 時 原則として毎月第 2 土曜日 年間 11 回の予定

受講料 年間 2,000 円

担 当 山根

令和元年

5 月 11 日 「玉手山の遺跡 (縄文～古墳時代)」(講義 山根)

6 月 8 日 「玉手山古墳群の調査」(講義 安村)

7 月 15 日 市民歴史大学 a

8 月 10 日 市民歴史大学 b

9月14日 「玉手山の遺跡（古代～近代）」（講義 山根）

10月12日 「玉手山古墳群ほか・柏原市」（見学会）

11月9日 「駒ヶ谷宮山古墳ほか・羽曳野市」（見学会）

12月14日 「東殿塚古墳ほか・天理市」（見学会）

令和2年

1月11日 市民歴史大学 c

2月8日 市民歴史大学 d

3月14日 「まとめ」（講義・山根）

(コ)【古文書入門講座】

a. 初級編

テーマ『河内鑑名所記』を読む

定員 25名 受講者数 25名 受講料 年間 1,000円

日時 原則として6月から3月までの毎月第3土曜日午前 計10回

b. 中級編

テーマ「平野・末吉家文書」ほか

定員 25名 受講者数 23名 受講料 年間 1,000円

日時 原則として6月から3月までの毎月第3土曜日午後 計10回

担当 高岡

(サ)【館長と学ぶ大和川講座】

大和川の歴史について、館長とともに学び、考える講座。

定員 70名、申込不要、無料

日時 4月から3月までの毎月第4土曜日を予定

担当 安村

(シ)【博物館実習】

令和元年8月20日（火）～25日（日）

6名程度の受け入れ予定（近畿大学ほか）

担当 山根、安村

(ス)【調査・整理】

a. 平野・末吉康三郎家文書の整理。目録刊行。

b. 今町・三田家文書の整理。

c. 玉手・安福寺文書の調査・整理。

d. 本郷・柏元家文書の整理。

- e. マイクロフィルム撮影事業。調査報告5『柏元家文書Ⅲ』の撮影。
- f. マイクロフィルムの整理。

(セ)【所蔵・保管資料の貸出等】

これまでと同様に、積極的に公開・活用を図っていく。市文化財保護条例の施行に伴い、市指定文化財については、通常の手続き以外に公開届が必要となっている。

(ソ)【寄贈・寄託】

広報等での呼びかけとともに、資料集の刊行やスポット展示などによって市民の関心を喚起し、寄贈・寄託資料の増加を図る。

(タ)【予定刊行物】

- | | |
|----------------------|------------|
| a. 夏季企画展図録『玉手山』 | 令和元年7月刊行予定 |
| b. 『柏原市立歴史資料館館報』第31号 | 令和元年9月刊行予定 |
| c. 『ゴンドラ』第16号 | 令和元年9月刊行予定 |
| d. 『平野・末吉康三郎家文書目録』 | 令和2年2月刊行予定 |
| e. 春季企画展図録『龍田古道』 | 令和2年3月刊行予定 |

(チ)【市民歴史クラブ】

9～10月に府立中央図書館にて当館と共催で、「安宿郡の古墳と寺院」の展示を計画。春季企画展「龍田古道」開催に伴い、龍田古道周辺の地形模型などの製作を予定。

(ツ)【高井田文化教室（柏陽庵）】

クラブ登録をした団体には利用料金を半額とし、期日前の申し込みを可能としている。クラブ制度による定期的な利用者の増加を図るとともに、一般利用者の促進を図る。

(2) 横穴管理運営関係

(ア) 【史跡高井田横穴特別公開】

- a 春季 5月18日(土) 午前10時～午後3時
 - ・第3支群5号横穴の線刻壁画を公開。
 - ・市民歴史クラブが参加・協力。
 - ・関西福祉科学大学「総合教養Ⅰ－河内学－」の学外体験講義。
- b 秋季 10月19日(土) 午前10時～午後3時
 - ・市民歴史クラブが参加・協力予定。

(イ) 【横穴公園等案内】

地域の歴史と自然に親しめる公園として、団体の見学希望者に職員が鍵を開けて案内。

(ウ) 【維持管理】

- a 保存工事を実施した第3支群5号横穴の経過観察を定期的実施(毎月)。今年度も線刻壁画に対する日照や照明の影響について調べる予定。そのため、照明については人感センサーを切っており、特別公開日を除き、玄室内部を覗くために人が近づいても照明は点灯しない。
- b 第3支群5号横穴については、特別公開日以外は入口扉のガラス越しに見学してもらう。
- c 横穴公園内景観の維持管理。平成30年度台風21号による被害への対応。

(エ) その他【柏原市文化財保護条例】

- a 柏原市文化財保護条例に基づく審議会の開催(2回)。
- b 柏原市文化財保護条例に基づく文化財の市指定。

3 講演会等の有料化について

経緯

受益者負担による利用者の応分の負担が求められるなか、当館は平成 29 年 12 月議会において、入館料の徴収はせず無料を継続することになった。しかしながら、講演会等の受益者からはある程度の費用負担を求めるべきではないかという意見もあり、昨年度の当運営協議会においても、何らかの負担を求めるべきという意見が多数を占めた。そこで、講演会等の有料化について案を提示するので審議いただきたい。

目的

講演会等の受講者に必要最低限の負担を求めるものである。

内容（案）

- ・ 市民歴史大学、文化財講演会等、講師を招聘する場合は原則として 200 円を徴収。
- ・ 市職員が実施する講演会、講座、案内等は原則として無料とする。
- ・ 体験教室は、材料代として 100 円程度を徴収する。
- ・ 文化財講座は現行どおり年額 2,000 円（はがきによる通信料約 700 円を含む）とし、講座の中に含まれている市民歴史大学は無料で受講できることとする。
- ・ 古文書講座は現行どおり年額 1,000 円とし、はがきによる案内を廃止する。
- ・ 横穴公開、横穴案内等は無料とする。
- ・ その他必要に応じて対応する。
- ・ 講演会等の資料は、残部がある場合に限り、窓口で無料で配付する。

柏原市立歴史資料館等運営協議会委員名簿

号	氏 名	備 考
1	木 下 百合子	大阪教育大学名誉教授 (学識経験者)
1	塚 口 義 信	堺女子短期大学名誉学長・名誉教授 (学識経験者)
1	綿 貫 友 子	神戸大学教授 (学識経験者)
2	橋 本 早知子	柏原市校園長会代表 柏原市立玉手小学校校長
2	水 元 誠 致	大阪府立柏原東高等学校校長 (市内公私立学校関係者)
4	岡 野 有 幸	市民代表(公募)
4	中 野 武	市民代表(公募)

※数字は設置規則第 条1号、2号、4号委員を指す。

※名簿掲載順は、各号委員別にアイウエオ順とした。

※任期は平成32年3月31日まで

